

## 質問回答書 (0919)

質問対象の工事番号	病建工 第1号
質問対象の工事名	市立秋田総合病院新病院建設工事

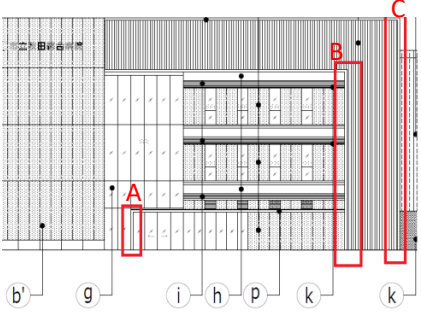
市立秋田総合病院新病院建設室

質問回答月日: 令和元年10月10日

No.	質問	回答
1	特記仕様書-2において、使用コンクリート一覧に免震部材下部基礎FC3970-55cmとありますが、免震部材基礎リスト-1より、高流動コンクリートの範囲を適用するとし、それ以外は基礎コンクリートと考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 S-002,235	柱頭免震はハッチングの範囲とし、基礎免震は免震部材下部基礎立ち上がりのすべてをフローコンとしてください。
2	特記仕様書-2において、マスコンクリートのセメントが中庸熱ポルトランドセメント及び低熱ポルトランドセメント両方の適用がありますが、今回、中庸熱ポルトランドセメントを使用すると考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 S-201	よろしいです。
3	免震部材基礎リスト-2において、MF5~MF5Cのフープ筋は全て外型と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 S-236	H形としてください。
4	大梁断面リスト-4において、2階B9AのAX11通り付端スターラップが、断面図では2本、表記では4本とくい違います。表記を正とし、4本と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 S-245	よろしいです。
5	大梁断面リスト-4において、3~5階B9Aの中央及び他端スターラップが、断面図では7本、表記では6本とくい違います。断面図を正とし、7本と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 S-245	6本を正としてください。
6	大梁断面リスト-5において、12~PH1階G2Aの中央及び他端スターラップが、断面図では4本、表記では3本とくい違います。断面図を正とし、4本と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 S-246	3本を正としてください。
7	片持ちスラブリストにおいて、CS28の短辺方向の配筋が不明です。上下共D13@100と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 S-253	よろしいです。
8	PH階屋上の立上り納まりについて、矩計図13ではアルミ笠木がありませんが、標準詳細図01<D1-03>ではアルミ笠木があり、くい違います。標準詳細図01<D1-03>を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ab-033.Ag-001<D1-03>	よろしいです。
9	アルミ笠木の仕上について、下記の様にくい違います。外部仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。 ・外部仕上表…B-FU ・標準詳細図01<D1-03>…アルマイト処理 Aa-017.Ag-001<D1-03>	よろしいです。

No.	質問	回答
10	PH階屋上の露出アスファル防水面にステンレス製脱気筒を70m2に1か所見込んで宜しいでしょうか。ご指示ください。 Aa-017	50m2に1か所設けてください。
11	R階屋上の笠木~目隠し壁ECP取合笠木について、下記のように違います。t=2.0を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 ・矩計図13…アルミパネル t=2.5 ・標準詳細図02<D2-05>…アルミパネル t=2.0 また、仕上はB-FUと考えて宜しいでしょうか。 Ab-033.Ag-002<D2-05>	よろしいです。 仕上げはB-FUとします。
12	R階屋上の目隠し壁 押出成形セメント板について、裏面仕上が不明です。素地仕上で宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ab-033.Ag-002<D2-05>	よろしいです。
13	13F屋上において、矩計図14 [14-A]では黒玉砂利敷きt50または押えコンクリートt80とありますが、押えコンクリートt80を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ab-034	13F屋上部は、AY2-AY5、AY9-AY12間を黒玉砂利敷とし、AY5-AY9を押えコンクリートとします。
14	13F屋上において、アスファル防水の断熱材の厚みがt55ですが、PH階に倣いt60と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ab-034	よろしいです。
15	標準詳細図01 D1-10 ハト小屋Aにおいて、配管取出口にコンクリートブロックの記載がありますが、施工範囲は鳩小屋長辺方向片面という考えでよろしいでしょうか。ご指示ください。 Ag-001<D1-10>	よろしいです。
16	矩計図13 6階屋上デッキにおいて、通水管の記載がありますが、材種はVP管と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ab-033	よろしいです。
17	矩計図13 6階屋上デッキにおいて、手摺の凡例はD2-05とありますが、屋上目隠し壁の詳細です。D2-08に読替えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ab-033.Ag-002<D2-05>	よろしいです。
18	矩計図13 PH屋上において、PCブロックの記載がありますが、400角と考えて宜しいでしょうか。また、明確な施工範囲を御指示下さい。 Ab-033	400角としてください。 DPの記載がある箇所(4か所)に見込んでください。
19	矩計図03 2階底において、SUS φ30とありますが、排水管と竖樋と考えて宜しいでしょうか。また、数量が不明です。御指示下さい。 Ab-023	よろしいです。底3m当たり1箇所見込んでください。
20	医療支援棟 5階 X4-5通りの外壁において、ECPとありますが、仕上が不明です。フラットパネル 内外装薄塗材Eと考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ad-015	フラットパネル+2-ASE塗装としてください。

No.	質問	回答
21	断熱範囲図において、7階 X5-X8×Y1通り屋根に断熱材の図示がありませんが、有りと考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Aj-008	ありとします(AY2及び、AY12双方の屋根)。硬質ウレタンフォームt60とします。
22	医療支援棟 5階屋根 アスファルト防水において、外部仕上表では防水押えコンクリートとありますが、防水範囲図では露出とあり違いが違います。露出防水と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Aa-017.Aj-017	よろしいです。
23	医療棟 6.7.13階屋根 アスファルト防水において、外部仕上表では防水押えコンクリートとありますが、防水範囲図では露出とあり違いが違います。露出防水と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Aa-017.Aj-018.019.022	防水押えコンクリートとします。
24	屋内を通る縦樋について、外部仕上表には塩ビライニング鋼管とありますが、標準詳細図01 D1-07にはSGP製とあり違いが違います。塩ビライニング鋼管を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Aa-017.Ag-001<D1-07>	SGP製とします。
25	標準詳細図01 D1-12 屋外機械基礎Aにおいて、通水管のピッチが1000と2000の2種類記載があります。2000を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ag-001<D1-12>	1000を正としてください。
26	上記質疑を正とする場合、基礎のサイズが2000未満の場合、不要と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ag-001<D1-12>	-
27	標準詳細図01 D1-13 屋外機械基礎B・C・Dにおいて、通水管はピッチ1000内外で設けるとありますが、図示がありません。Bタイプは@2000内外、C、Dタイプは不要と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ag-001<D1-13>	Bタイプは@1000で設置し、C、Dは不要です。
28	屋外鉄骨階段の手摺について、縦格子手摺とガラス手摺の2種類記載されていますが使い分けが不明です。外周をガラス手摺、内周を縦格子手摺と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ac-004.005	階段長手方向の外周・内周を縦格子手摺とし、階段短手方向の踊場外周部をガラス手摺とします。
29	屋外鉄骨階段に屋根:スチールパネルの記載がありますが、納まりが不明です。外周に幕板は不要とし、外壁側取合には水切(屋根同材)を見込んで宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ac-004.005	幕板を屋根同材、水切りも見込んでください。
30	屋外鉄骨階段1の1~2F部分にチェーン4段が記載されていますが、ステンレスチェーンでよろしいでしょうか。ご指示ください。 Ac-004	よろしいです。
31	医療支援棟 西側立面図において、BX1-2通り外壁に凡例I RC下地+角波ガルバリウム鋼板とありますが、矩計図03では撥水剤とあり違いが違います。立面図を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ab-015.023	矩計図03を正とします。

No.	質問	回答
32	医療支援棟 南側立面図において、1階外壁に凡例b” ECP下地+セラタイトとありますが、矩計図05ではECP t60 + 角波ガルバリウム鋼板とあり違いがあります。立面図を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ab-017.025	よろしいです。
33	医療支援棟 西側立面図において、赤枠で囲んだ範囲の詳細が不明です。御指示下さい。 Ab-015 	別紙追加資料のとおり
34	EXP.J詳細図11 E4-22 風除室3・救急車庫廻り 外構 EXP.J断面詳細図において、建物側にU字側溝及びグレーチングの記載がありますが、詳細が不明です。御指示下さい。 AI-012	sus細目歩行用グレーチングW150H150、側溝内は塗膜防水を見込んでください。
35	1階 ロ-列-の床防水において、矩計図01ではアスファルト防水とありますが、矩計図03ではポリマーセメント防水とあり違いがあります。アスファルト防水を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ab-021.023	よろしいです。
36	1階 ロ-列-の床防水 保護コンクリートにおいて、矩計図02ではt=150~200とありますが、矩計図05ではt=20とあり違いがあります。T=150~200と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ab-022.025	よろしいです。
37	1階 ロ-列- 壁 ECPにおいて、矩計図03 [3-A]ではECPt60 内外装薄塗材Eとありますが、[3-B]ではECP(リフ付)とあり違いがあります。ECPt60 内外装薄塗材Eと考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ab-023	よろしいです。
38	1階平面詳細図 BX4/BY3-4通りに排水溝の記載がありますが、グレーチングの詳細、溝内の仕上が不明です。sus細目歩行用グレーチング、側溝内は素地でよろしいでしょうか。ご指示ください。 Ad-003	質疑34と同様に、sus細目歩行用グレーチング W150H150、側溝内は塗膜防水を見込んでください。
39	1階平面詳細図 BX1-4/BY1通りにメンテナンススペースの記載がありますが、床仕上はコンクリート金鍍とし、成形板裏面の仕上は素地仕上と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ad-003	よろしいです。
40	標準詳細図16 D16-01 ECPBY6通り 断面詳細図において、成形板足元に水抜きパイプの記載がありますが、材種、詳細、割付が不明です。ゴム系既製品@6000程度でよろしいでしょうか。ご指示ください。 Ag-016<D16-01>	SUS製パイプとし@3000で設けてください。

No.	質問	回答
41	<p>木ルーバーについて、下記図面で違いがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・矩計図01…秋田杉 防腐剤塗布2回塗 150×75 @125</li> <li>・矩計図02…樹脂製 木目調 150×75 @125</li> <li>・標準詳細図02&lt;D2-06&gt;…秋田杉 シリコン系撥水剤塗布 150×60 @150</li> <li>標準詳細図02の秋田杉 シリコン系撥水剤塗布 150×60 @150を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</li> </ul> <p>Ab-021.022.Ag-002&lt;D2-06&gt;</p>	よろしいです。
42	<p>標準詳細図02 D2-02 タップにおいて、H寸法が不明です。階高を考えてH=5100,4000程度で宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>Ag-002&lt;D2-02&gt;</p>	よろしいです。
43	<p>パラペット笠木において、標準詳細図01 D1-02では笠木先端にアルミ水切の記載がありますが、矩計図01ではアルミアングルの記載は無く、違いがあります。つららの原因となるのでアルミアングル無しでよろしいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>Ab-021.Ag-001&lt;D1-12&gt;</p>	アルミアングル有としてください。
44	<p>2階平面詳細図02 AX1/AY12通り PS内の縦樋において、3F平面詳細図02では渡り廊下付近への排水経路としている為、範囲が違いがあります。3階平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>Ad-005.008</p>	よろしいです。
45	<p>BX3/BY6通りの縦樋において、4階平面詳細図では縦樋が2か所ありますが、3階平面詳細図では1か所しか無く違いがあります。4階平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>Ad-009.Ad-012</p>	よろしいです。
46	<p>AX6-8/AY14通りの縦樋において、6階平面詳細図02では屋根にドレインの記載がありますが、5階平面詳細図01では縦樋の図示が無く排水経路が不明です。御指示下さい。</p> <p>Ad-014.Ad-016</p>	PS1内へのルートを排水経路とします。
47	<p>6階 AX11/AY5通りにDP□100と這い樋の様記載がありますがこちらは縦樋から屋上床を這わせてドレインに開放していると考えて宜しいでしょうか。Ad-017</p>	よろしいです。
48	<p>免震フレキ管において、サブレックス MF-SとMF-Vの2種類記載がありますが、使い分けが不明です。御指示下さい。Ab-004</p>	サービスヤード部の縦樋については、MF-Vタイプとし、他はMF-Sタイプとします。
49	<p>免震フレキ管廻りの鉄骨下地組において、サイズ・施工か所数が不明です。御指示下さい。Ab-004</p>	施工箇所は外壁に近接する箇所(Ax2-4・AY14付近)MF-Sタイプ2か所(φ250)、他凡例◆記載箇所MF-Vタイプ5か所(φ150)とします。
50	<p>マニホール詳細図 折板屋根の山高が不明です。特記仕様書03 3節折版葺の仕様と付属棟計画図1 マニホールの仕様と異なります。付属棟計画図1 マニホールの仕様を正としてニスクルーPL80程度でよろしいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>Aa-012 Am-023</p>	よろしいです。
51	<p>マニホール詳細図 折版屋根 軒先水切、詳細が不明です。屋根同材のカラーガルバリウム鋼板 t=0.8 と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。</p> <p>Am-023</p>	よろしいです。

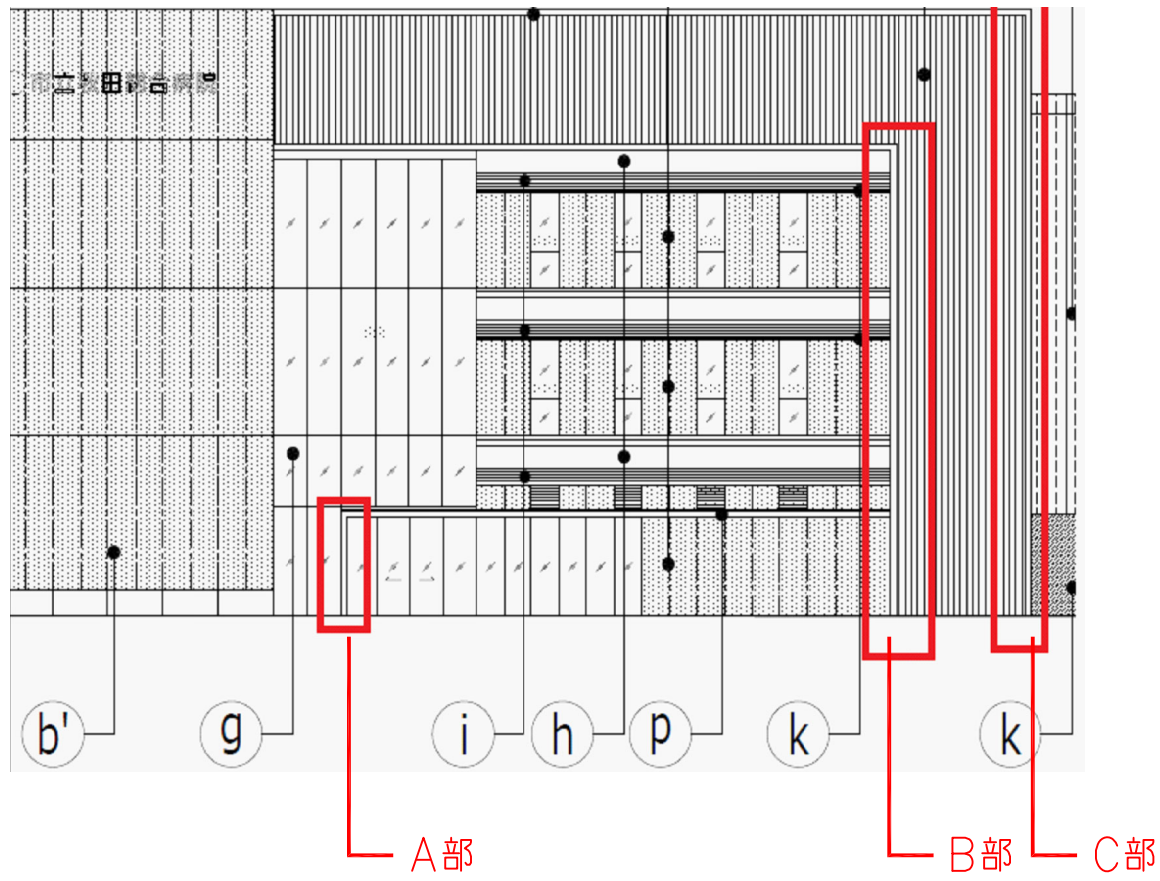
No.	質問	回答
52	マニホール詳細図 1F廻りにおいて、ネットフェンス H=2400とありますが、旭のユニフェンス程度でよろしいでしょうか。また、ネットフェンス下の基礎は天端がGLと考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。Am-023	共に、よろしいです。
53	マニホール詳細図 北側立面図において、凡例⑥とありますが、詳細が不明です。①と同じでよろしいでしょうか。ご指示ください。 Am-023	よろしいです。
54	建築工事特記仕様書01⑤節押出成形セメント板(ERP)パネル取付金物の材質・仕上が『一般部・・・溶融亜鉛メッキC種(ボルトナット類はステンレス)、外気に接する部分・地下二重壁・・・ステンレス』となっておりますが、ステンレスの場合は強度計算にてメーカーの検討が必要かと思われまます。また、亜鉛メッキ+ステンレスボルトは電食対策が必要かと思われまますので『一般部・・・K5624錆止め塗装、外気に接する部分・地下二重壁・・・溶融亜鉛メッキC種』ですがよろしいでしょうか。ご指示ください。Aa-013	特記仕様書通りとし、ステンレスとした場合は強度計算の上取り付け金物のサイズを決定してください。 一般部については、電食対策をしてください。
55	建築工事特記仕様書04 4節 鋼製建具 16.4.3材料で外部一般部がY08となっておりますが、メーカーでの工場加工ができないようです。工場で作成可能なZ12でいかがでしょうか。ご指示ください。	よろしいです。
56	建築工事特記仕様書07 5節屋上緑化のところに●が付いていますが、部位が不明です。なしでよろしいでしょうか。ご指示ください。	よろしいです。
57	建具表06に於いてSP11(レストラン)SP12(レポート作成)とありますが、平面図で部位を確認できませんでした。ご指示をお願いします。 Af-019	SP-11は、2階の外來レストランとラウンジの間にあり、下図のとおりとします。 SP-12は中止します。 
58	建具姿図02に於いてAW17の展開図が記載ありますが、平面図で部位を確認できませんでした。ご指示をお願いします。 Af-021	中止とします。
59	巾木の仕上記号について、仕上表より、H-1:ツツ巾木 H=60とありますが、標準詳細図05では、H-1は木製の詳細で違いがあります。仕上表の仕上名称優先と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Aa-017.Ag-005	よろしいです。H-2としてください。
60	木製幅木の樹種・サイズ・表面仕上ですがh60、タモの集成材+クリア程度でよろしいでしょうか。ご指示ください。 Aa-021	タモ集成材、仕上げはUSCLとします。

No.	質問	回答
61	標準詳細図06より、ユニットア納まりについて、(A)一般用の踏板がアルミと四方枠 カイダーで違いがあります。四方枠 カイダーを正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ag-006<D6-04>	よろしいです。
62	標準詳細図06より、点滴レールの仕様が不明です。アルミ焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ag-006<D6-15>	よろしいです。
63	天井伏図より、カーテンボックス CB-Cの仕様がアルミ t=1.6 SOPとありますが、アルミ 焼付塗装に読替えて宜しいでしょうか。また、アルミの厚みを併せて御指示下さい。 Ad-029	スチールt=1.6 SOPとしてください。
64	標準詳細図07より、ヒクチャーレールの記載がありますが、施工範囲が不明です。御指示下さい。 Ag-007<D7-01>	範囲は明示しませんが、施工m数の100m見込んでください。
65	標準詳細図06より、コーナーガードBの施工高さについて、D6-01の詳細図では天井までとなっていますが、D6-02の詳細図ではナカ工業:セーフティコーナー NKS-50WA(メーカーカタログより定尺2500mm)の記載があり、違いがあります。コーナーガードBは全てH=2500と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ag-006<D6-01.02>	設置高さはすべて天井までとします。
66	標準詳細図06より、コーナーガードCの施工高さが不明です。H2500でよろしいでしょうか。ご指示ください。 Ag-006<D6-01.02>	設置高さはすべて天井までとします。
67	間仕切凡例:W-10・11・14の施工高さが不明です。LGS・ボード共に天井があるところは天井まで、天井がないところはスラブ～スラブと考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ag-004	よろしいです。
68	RC柱はW-a.b:GL工法と記載がありますが、内壁及び外壁RC面も柱に倣い、GL工法と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ad-001	よろしいです。
69	共通事項55において、壁:耐水石膏ボードに読替える石膏ボードは上貼の1枚のみと考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Aa-017	よろしいです。
70	共通事項55について、耐火間仕切に施工する場合、耐水PB t=12.5を1枚増貼と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Aa-017	よろしいです。
71	柱:耐火被覆の範囲について、風除室柱以外に一部間柱等がありますが、ロックール吹付 t=25またはt=45を見込んで宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ag-001<D1-14>	よろしいです。
72	梁:耐火被覆の範囲について、ロックール吹付 t=25またはt=45の記載がありますが、耐風梁も同様に施工と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Ag-001<D1-14>	よろしいです。

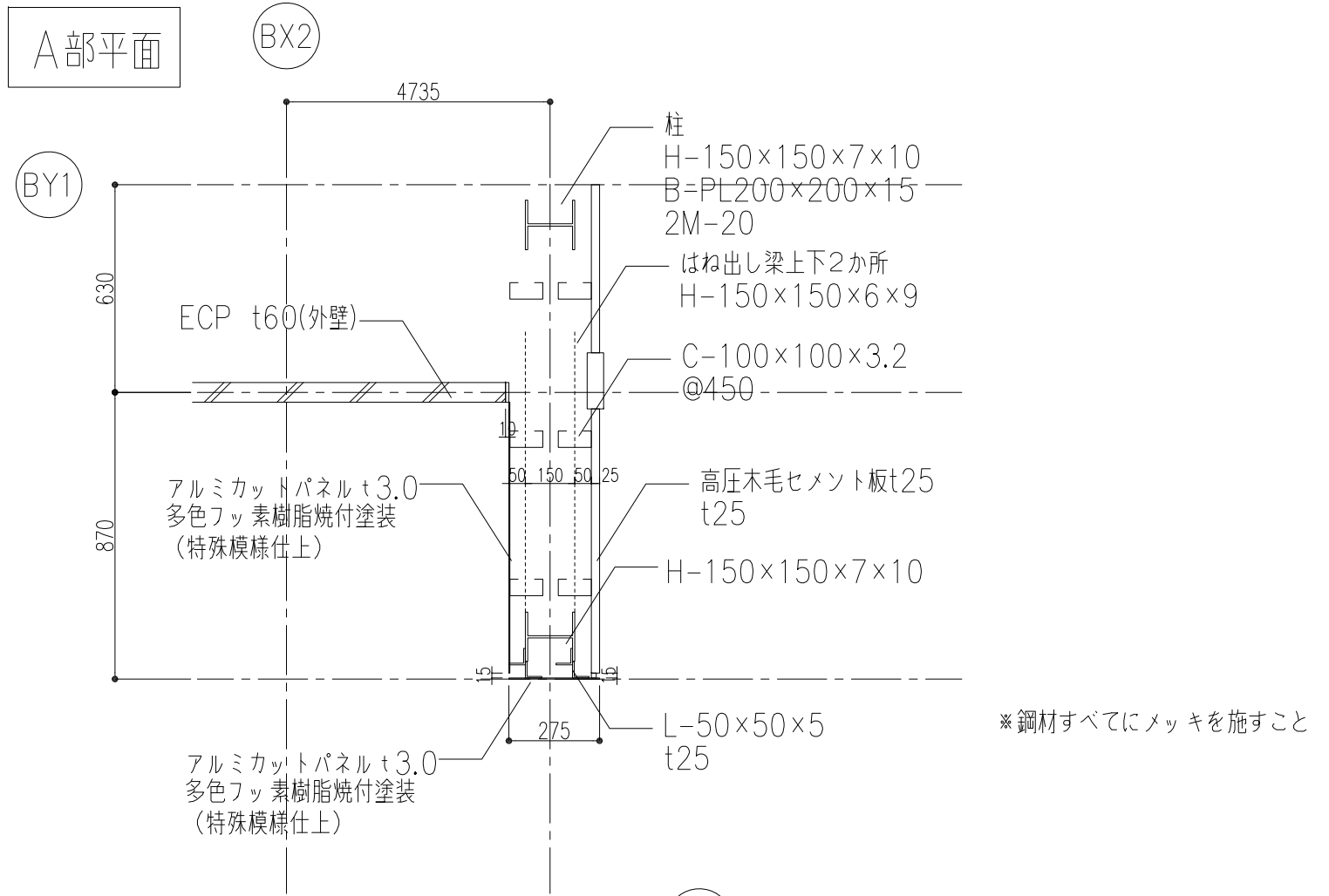
No.	質問	回答
73	2階注射エリア 仕上表OAフロアH250とありますが、平面詳細図には記載ありません。仕上表を正としてよろしいでしょうか。ご指示ください。	よろしいです。
74	3階更衣4～10 仕上表OAフロアH200とありますが、平面詳細図には押えコンクリートと記載されています。仕上表を正としてよろしいでしょうか。ご指示ください。	よろしいです。
75	3階血管確保・準備 仕上表OAフロアH200とありますが、平面詳細図には記載ありません。仕上表を正としてよろしいでしょうか。ご指示ください。	OAフロアは、中止とします。
76	3階操作室(作業環境・測定室) 仕上表には一部OAフロアH200とありますが、平面詳細図には押えコンクリートと記載されています。仕上表を正としてよろしいでしょうか。ご指示ください。	ハッチング部分(押えコン)を、OAフロア範囲と読み替えてください。
77	OAフロア仕上 長尺塩ビシート2tは不陸が出てしまう為直貼りに適しません。コンパネt12+6長尺塩ビシート2tでよろしいでしょうか。ご指示ください。	よろしいです。コンパネt12+長尺塩ビシート2tとします。
78	OAフロア仕上 ビニルタイル3tは不陸が出てしまう為直貼りに適しません、置敷タイル5tでよろしいでしょうか。ご指示ください。	よろしいです。
79	建築工事特記仕様書06 20.2.5トイレブースは●メラミン樹脂系とありますが、建築工事特記仕様書07工事範囲外項目で(g)トイレブースは工事範囲外となっておりますが、工事範囲外でよろしいでしょうか。ご指示ください。	よろしいです。
80	建築工事特記仕様書07工事範囲外項目で(a)～(i)より、カウンター、洗面カウンター、流し付きカウンター、ユニットシャワー、ユニットバス、衛生機器、化粧鏡、トイレブース、ミニキッチン、キッチン、サインはすべて工事範囲外でよろしいでしょうか。ご指示ください。	よろしいです。
81	共通特記仕様書03(工事区分表01)で228無影灯天井内取付下地(アンカー架台)アンカーのみとなっておりますが、設計書P296では手術室1～8で無影灯架台共となっておりますが、共通特記仕様書03を正でよろしいでしょうか。	よろしいです。
82	アスファルト舗装について、表層仕様が下記のように違います。 ・建築工事特記仕様書07 22.4…密粒度アスファルト混合物(13F) ・舗装・区画線詳細図…密粒度アスコン(13) 建築工事特記仕様書07 22.4の密粒度アスファルト混合物(13F)を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 Aa-016.Am-020	寒冷積雪地では密粒度アスファルト混合物(13F)を使用となりますが、秋田県では「舗装の構造に関する技術基準」において当該区域の交通区分量(N3)であることから、再生②密粒度アスコン(13)となります。
83	舗装計画平面図 西側通路 アスファルト舗装-4について、舗装構成が不明です。舗装3と同じでよろしいでしょうか。ご指示ください。 Am-003.020	アスファルト舗装-3がアスファルト舗装-4の舗装構成となります。(アスファルト舗装-3→アスファルト舗装-4に修正) アスファルト舗装-3は、ピット上部のため、アスファルト舗装-2のAs舗装厚と同様となります。 舗装-2、3は秋田県「舗装の構造に関する技術基準」より、表層:再生②密粒度アスコン(13)t=30、基層:再生②密粒度アスコン(20)t=40となります。



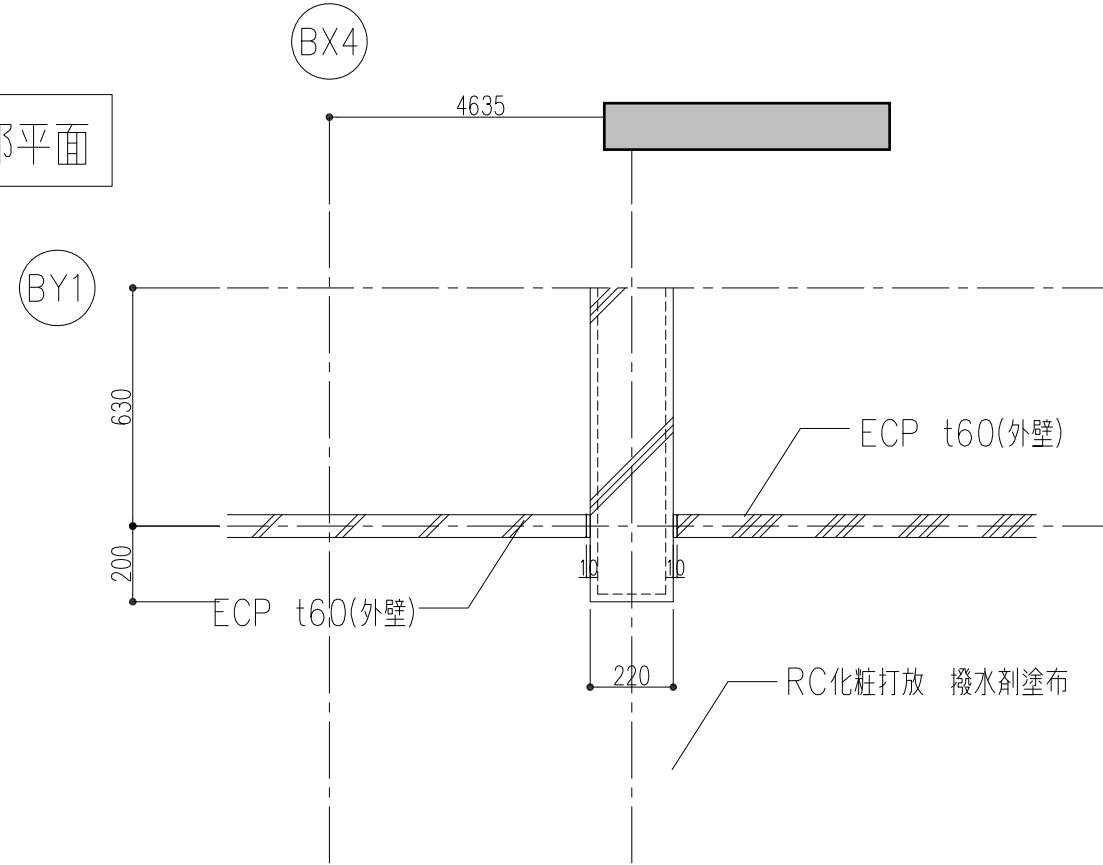
No.	質問	回答
84	舗装計画平面図 仮舗装について、舗装構成が不明です。舗装1と同じでよろしいでしょうか。ご指示ください。 Am-003.020	仮舗装は再生②密粒度アスコン(13) t=50 路盤 RC-40 t=150としてください。
85	建築工事特記仕様書07 3節植樹 23.3.6移植樹木の枯損処置のところに引渡から5年●が付いていますが、具体的にどのような内容を見積すればよいでしょうか。ご指示ください。	枯損した場合の防腐等の対策等の保障と捉えてください。
86	仮舗装(中央部、南西部),舗装-4については、断面を路盤t=200mm舗装をt=50mmで見積計上しておりますが、宜しいでしょうか。ご指示願います。	下記としてください。 仮舗装(表層50+路盤150)、 舗装-4(表層40+上層150+下層150)



A部平面



B部平面



C部平面

